

農林水産省登録 第21027号

水稻用殺虫・殺菌剤

自然に学び 自然を守る



# ビームスタークル<sup>TM</sup> 粉剤5DL

いもち病



オオトゲシラホシカメムシ



アカヒゲホソミドリカスミカメ



ホンハリカメムシ



セジロウンカ



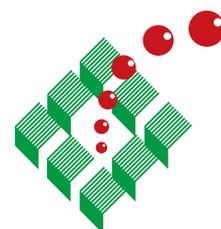
ツマグロヨコバイ



穂枯れ (ごま葉枯病菌)



出穂期以降の散布で  
重要病害虫を同時防除!



TM: ザ・ダウ・ケミカルカンパニーまたはその関連会社商標  
©スタークルは三井化学アグロ(株)の登録商標

## ■特長

- 1.スタークルがウンカ類、ツマグロヨコバイ等に安定した高い効果を発揮し、特に斑点米カメムシには優れた防除効果を示します。
- 2.また、スタークルは速やかに稲体内へ浸透・移行し、長い残効性と耐雨性を示します。
- 3.ビームはいもち病防除剤として定評があるだけでなく、穂枯れ(ごま葉枯病菌)にも有効です。

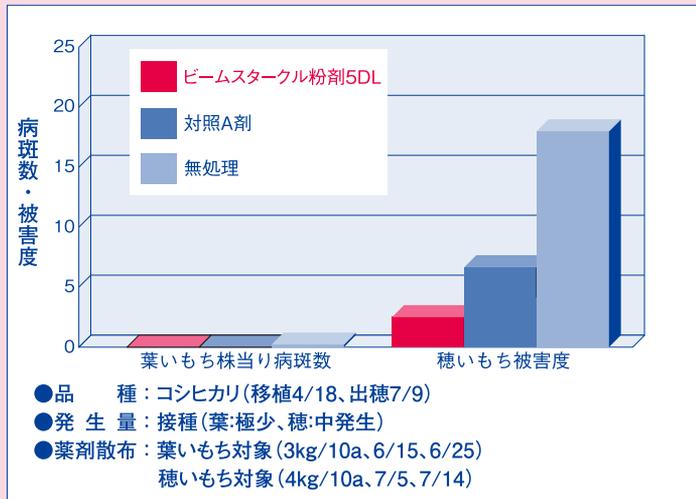
## ■適用病害虫及び使用方法

作物名	適用病害虫名	10アール当り使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ツマグロヨコバイ ウンカ類 カメムシ類 イナゴ類	3~4kg	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)
	穂枯れ(ごま葉枯病菌)	4kg					

## ■試験成績

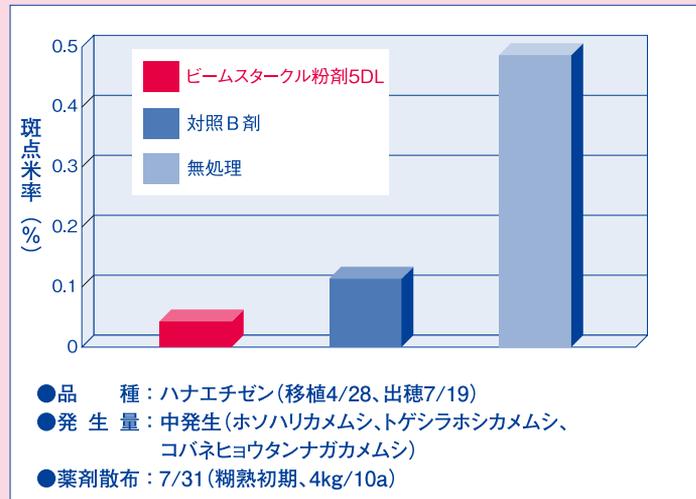
### ●いもち病防除効果

2001年 日植防研高知



### ●斑点米カメムシに対する防除効果

2001年 福井農試



## ■使用上の注意事項



1. 桑に付着するおそれがある地域では使用しないでください。散布器具、作業着などは桑用と必ず区別してください。



2. ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
- ミツバチの巣箱およびその周辺にはかからないようにしてください。
  - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

3. 野菜類の幼苗及びなし(二十世紀、幸水、新水等)には、薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。

4. いもち病に対して予防的な散布がより効果的です。葉いもちに対して発生が予想される場合、または初発生をみたら直ちに散布してください。穂いもちに対しては穂ばらみ後期の頃に散布してください。なお、多発生が予想される場合には、さらに出穂後に散布してください。

本資料は2017年7月現在の知見に基づいて作成されております。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記帳しましょう。